

令和8年度水島コンビナート地区画像伝送システムの
カメラ更新等業務 仕様書

令和8年4月

岡山県消防保安課

水島コンビナート地区画像伝送システムのカメラ更新等

平成18年度から19年度にかけて、海上保安部水島信号所（現在までカメラ更新なし）及び高島港湾緑地（平成27年度にカメラ更新1回）に設置した水島コンビナート地区画像伝送システムのカメラ設備の老朽化に伴い、当該システムを正常に維持していくため、カメラ設備等を更新する。

1 基本要件

本設備に求められる基本的な要件は、台風、高潮、津波などの自然災害における地域の防災対策としての機能を満足しなければならない。

- (1) セキュリティ対策を行うこと。
 - ア) 映像情報のネットワークセキュリティ対策を行うこと。
 - イ) 台風などの自然災害に耐え得る設置方法、機器の採用及び構成とすること。
- (2) 信頼性・安全性
 - ウ) 24時間365日安定稼働すること。
 - エ) 設置方法、機器の選定にあたっては、実績等を勘案すること。
 - オ) 屋外機器は、塩害、暴風、防水、結露、落雷、防錆、防塵対策が講じられていること。
 - カ) 電波干渉により他の機器に障害を与え、又は他の機器からの電波干渉により、その機能に障害が生じることを防止する措置が講じられていること。
- (3) 経済性、効率性
 - キ) 費用対効果を最大限に考慮すること。
 - ク) 維持管理費用（運用、保守費、通信費）を最小限に抑えられる構成にする。
 - ケ) 既設の施設、設備等を考慮し、重複投資とならないようにすること。
- (4) 保守性
 - コ) 24時間365日安定した稼働を実施するための最適な保守（点検、修理等）、運用体制を検討し確保すること。
 - サ) 保守（点検、修理等）作業が容易に行える、設置方法、対策、機器の採用及び構成とすること。
 - シ) 機器の更新が容易に行えること。
 - ス) カメラ映像を外部記録媒体に記録可能であること。
- (5) 接続互換性
 - セ) 既設水島コンビナート地区画像伝送システムの配信サーバ及びストリームレコーダに接続し、映像配信及び映像記録ができること。

2 更新設備の仕様

品名	規格	数量
屋外電動ドーム型ネットワークカメラ (参考機種：HC-IP3050HDAYS(耐塩仕様))	<p>① 回転部、ケース部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置条件 屋外対応、天吊り ・最大旋回角度 <ul style="list-style-type: none"> 水平：360° エンドレス 垂直：0° ～ -180° ±2° 内 ・水平回転速度：0.05° /秒～120° /秒 (マニュアル) ±10%、 300° /秒(プリセット) ±10% ・垂直回転速度：0.05° /秒～120° /秒 (マニュアル) ±10%、 300° /秒(プリセット) ±10% ・プリセット制御項目 <ul style="list-style-type: none"> 雲台 パン (左、右) チルト (上、下) レンズ ズーム (広角、望遠) フォーカス (遠、近) ・プリセットポジション 最大16カ所 ・プリセット停止精度 水平/垂直±3° 以内 <p>② カメラ部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮像素子 1/2.8型 CMOSセンサー (単板) ・有効画素数 約213万画素 ・最低被写体照度 <ul style="list-style-type: none"> 通常モード時(カラー) 0.041Lx 以上 (白黒) 0.0041Lx 以上 蓄積モード時(カラー) 0.0041x 以上 (白黒) 0.0041Lx 以上 ・逆光補正機能 有り ・ノイズリダクション機能 有り ・デジタルズーム機能 最大12倍 ・ワイドアングルミックス機能 有り ・霞補正機能 有り <p>③ レンズ部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ズーム比 30倍 ・焦点距離 4.3～129mm ±5% ・最大口径比 1:1.6(WIDE)～1:4.7(THLE) ・水平画角 約63.7° (WIDE端)～ 	2台 (同機種)

	<p style="text-align: right;">約 2.3° (TELE 端)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 垂直画角 約 35.8° (WIDE 端)～ 約 1.3° (TELE 端) ・ オートフォーカス機能 有り (ワンプッシュ方式) <p>④ 映像圧縮部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 映像圧縮方式 H. 264 (ISO/IEC14496-10) HP@L4/JPEG ・ 解像度 1920×1080、1440×1080、 1280×960、1280×720、 640×480、320×240 ・ 符号化レート 16Kbps～15Mbps ・ フレームレート 29.97fps <p>⑤ ネットワーク部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターフェイス Ethernet: 100BASE-TX、 10BASE-T (RJ-45) ・ 通信モード 自動 ・ プロトコル TCP/IP、UDP、HTTP、SNMP、RTP、SNTF ・ 最大配信量 設定可能 ・ アクセス数 最大 10 ・ Onvif 準拠 ONVIF Profile S <p>⑥ 一般仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源 AC100V±10%、 又は PoE+ (IEEE802.3at 準拠) ・ 消費電力 30W 以下 (ヒータ含む) ・ 外形寸法 φ200×239 (H) mm 突起部を除く ・ 質量 約 4kg ・ 動作温湿度 -20～40℃ 90%RH 以下 ・ 種別 暴噴流型 (JIS C0920-2003 IP66 準拠) ・ 耐風条件 非破壊: 60m/s 以下 ・ 仕上げ、塗装色 本体部: アルミ合金 ポリウレタン塗装 N1.9 (カ) ドーム部: 透明樹脂 	
--	--	--

品 名	規 格	数 量
ルータ (伝送装置) (参考機種 : FortiGate 40G)	ア) LAN ポート 3 ポート (GbE RJ45 ポート) イ) WAN ポート 1 ポート (GbE RJ45 ポート) ウ) 脅威保護スループット 最大 500Mbps / IPv4 ファイアウォールスループット 最大 4Gbps エ) ルーティング対象プロトコル IPv4、IPv6 オ) IP ルーティングプロトコル RIP、OSPF、BGP カ) WAN プロトコル PPP、PPPoE、IPoE、DHCP キ) 認証機能 PAP/CHAP、MS-CHAP/MS-CHAPv2 ク) ファイアウォール機能 NAT、IP マスカレード、静的 NAT、静的 IP マスカレード ケ) ルーター機能 DHCP サーバー、DHCP クライアント、DHCP リレーエージェント、DNS リカーシブサーバー コ) 電源 (外部 DC 電源アダプター) 100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz ア)	2 台 (同機種)

3 作業要領

(1) 機器設置

① カメラ装置を下記 2 箇所に各 1 台設置する。

【設置場所】(別添位置図を参照)

- ・高所カメラ (海上保安庁水島信号所内に設置)

倉敷市児島塩生字高島 4 2 4 6 - 1

- ・沿岸カメラ (高島港湾緑地の手前に設置)

倉敷市児島塩生字高島 4 3 3 6 - 1

② ルータ (伝送装置) を下記 2 箇所に各 1 台設置する。

【設置場所】(別添位置図を参照)

- ・高所カメラ (海上保安庁水島信号所内に設置)

倉敷市児島塩生字高島 4 2 4 6 - 1

- ・沿岸カメラ (高島港湾緑地の手前に設置)

倉敷市児島塩生字高島 4 3 3 6 - 1

③ 設置機器に係る図面を作成する (通信ケーブル配線等を含む)。

(2) 通信回線

通信用回線は N T T フレッツ光回線を使用する。

(3) 通信ケーブル配線

機側盤からカメラ装置までの配線を行う。(システム構成図参照)

(4) 現地機器搬入設置調整

- ① 装置架等を搬入設置し配線の接続及び機器の調整をする。
- ② 本システムが安定した最良の伝送速度を確保できるよう調整する。

(5) 県庁内ネットワーク機器調整

- ① 既設のストリームレコーダで映像が記録できるよう調整する。
- ② 既設のインターネット配信サーバでアクセスする特定のクライアントに対して、カメラ操作(ズーム、旋回等)と映像を配信できるよう調整する。
- ③ 既設端末装置でカメラ操作(ズーム、旋回等)と映像が監視出来るよう調整する。
- ④ 他のネットワークに支障を与えないよう調整する。

(6) 総合試験

- ① 県庁消防保安課 監視装置で映像の確認とカメラ操作を確認する。
- ② カメラで撮影した各映像がインターネットに接続したPCで映像の確認とカメラ操作を確認する。

(7) その他

設備機器ボックスに「令和8年度石油貯蔵施設立地対策等交付金施設」の表示をシール等で行うこと。

4 安全管理

作業中の安全及び設置場所の安全管理を十分に行うこと。

5 提出書類

(1) 本業務の実施に当たりあらかじめ次の書類を2部提出し、承諾を受けること。

- ① 業務計画書(工程表を含む)
- ② その他必要な書類

(2) 本業務の実施完了後、次の書類を2部提出すること。

- ① 完成図面
- ② 試験成績書
- ③ 写真
- ④ その他必要な書類

6 検収・完了確認

(1) 作業終了後、完了確認を受けること。

(2) 完了確認に当たっては、あらかじめ上記提出書類を提出すること。

(3) 完了確認項目の内容についてあらかじめ協議を行うこと。

なお、検査に要する機材、測定器及び人員等は業務実施者で準備すること。

7 補足及び疑義

- (1) 仕様書に明記されていない事項であっても、機能上当然必要と認められるものについては装備するものとする。
- (2) 仕様書の内容に疑義が生じた場合、速やかに協議するものとする。

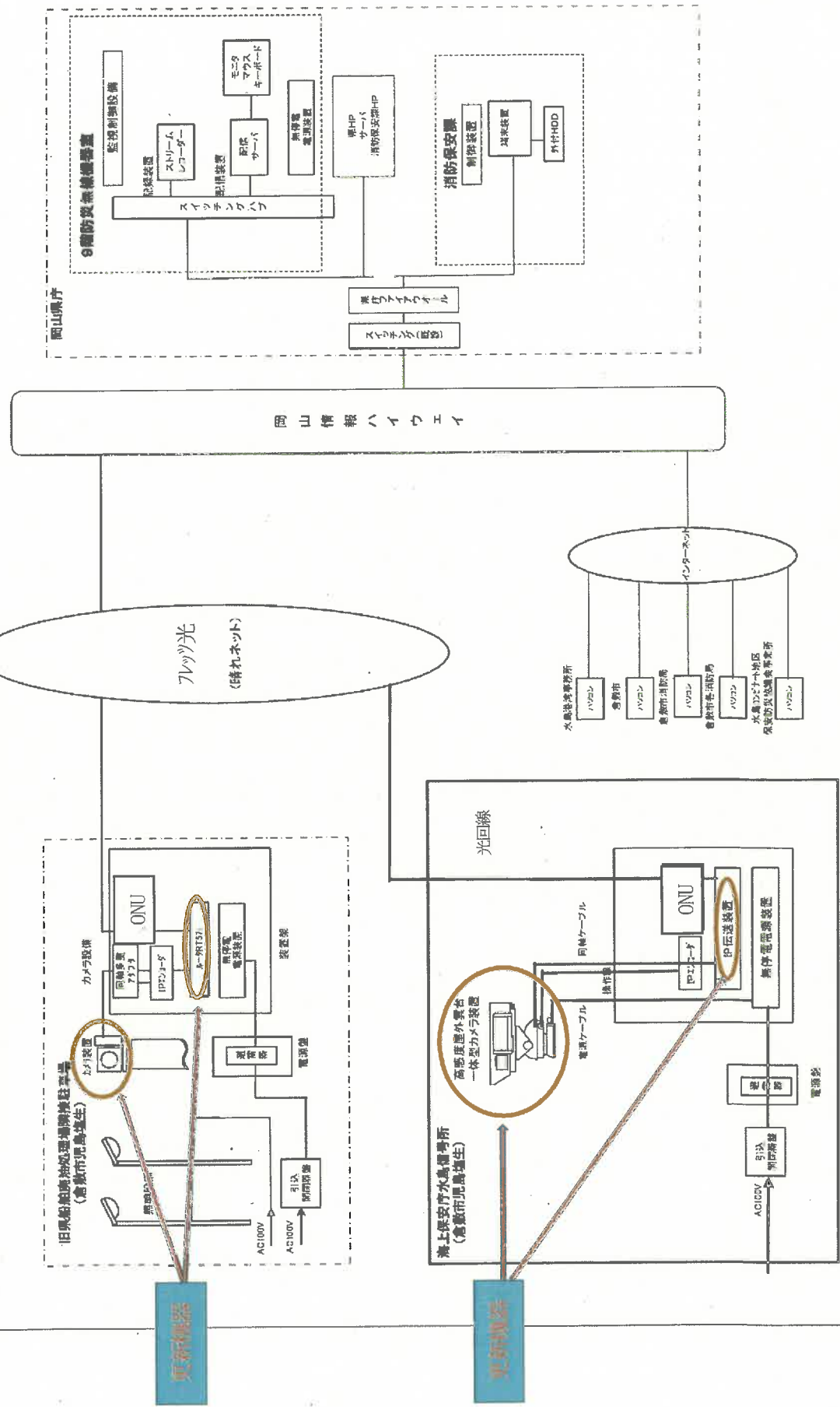
8 保証

本業務完了後、1年以内に発生した障害のうち、設計、製作によるものなどの責任と認められるものについては無償で修理又は交換するものとする。

特に重大な過失障害については、当該期間経過後であっても協議の上、無償修理を行うものとする。

水島コンビナート地区画像伝送システム構成図 (沿岸カメラ・高所カメラ)

2026年3月11日



東新機器

東新機器